

1 講座名・定員など

(1) 授業科目

科目名		担当教員	曜日	時限	定員
学部 授 業	戦争と平和の歴史	中島 浩貴	月	2	若 干 名
	歴史学	中島 浩貴	月	3	
	化学A	小曾根 崇	水	1	
	多文化コミュニケーションA	比嘉 徹徳	水	2	
	世界経済の現在	諸岡 千裕	金	2	
	欧米文化研究	中島 浩貴	金	2	
	歴史学	中島 浩貴	金	3	
	教養ゼミナールA	中島 浩貴	金	4	

【授業時間】 ※ 1コマ 100分授業。

1時限： 9：20～11：00 2時限： 11：10～12：50

3時限： 13：40～15：20 4時限： 15：30～17：10

【授業開始日】

4月11日（金）より開始します。

【講義回数】

各科目とも授業は14回を予定しています。

【学期末試験】

受験の必要はありません。

【注意事項】

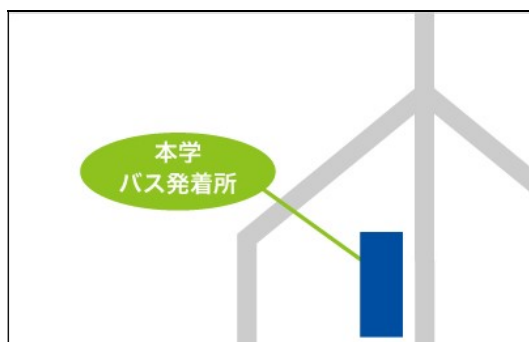
- ・学内のITサービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Webメール、PC貸与など）および図書館の利用はできません。
- ・各科目の担当教員、授業時間割および授業科目の内容は変更になる場合があります。
- ・休講が発生した場合、通常とは異なる曜日・時限で補講が行われる場合があります。
- ・埼玉鳩山キャンパスに登校し、対面で受講していただきます。新型コロナウイルスの感染拡大などの影響で授業がオンライン形式となった場合、受講を中止させていただきます。

(2) 場所

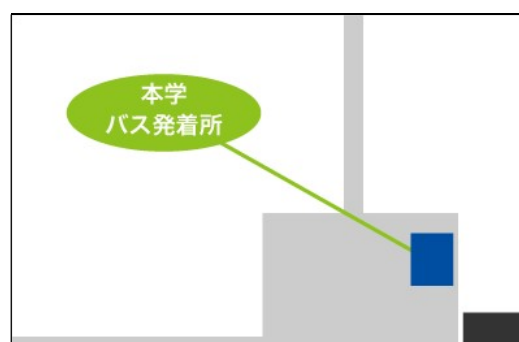
東京電機大学埼玉鳩山キャンパス（住所：埼玉県比企郡鳩山町石坂）

- ・スクールバス（無料）は東武東上線「高坂駅」および「北坂戸駅」からご利用いただけます。（高坂駅発：約8分、北坂戸駅発：約10分）
- ・自動車での通学も可能です。希望される場合は、教務担当窓口までお申し出ください。

なお、本学駐車場内での事故等については、大学は一切責任を負いません。



高坂駅スクールバス発着所



北坂戸駅スクールバス発着所

2 受講料等

(1) 受講料 1科目につき 10,000円

(2) その他 教科書等の教材は、自己負担でご用意いただきます。
(教材については、初回授業時に教員から指示があります)

3 受講の申込み

(1) 申込期限 令和7年3月14日(金)

(2) 申込先 ①e-mailの場合：ri-kyomu@jim.dendai.ac.jp

②はがきの場合：

〒350-0394 埼玉県比企郡鳩山町石坂

東京電機大学 理工学部事務部 教務担当

(3) 申込方法

「e-mail」または「はがき」で、以下の事項をもれなく記入の上、お申し込みください。

- ①郵便番号・住所
- ②氏名・ふりがな
- ③年齢（令和7年4月1日現在）
- ④電話番号（日中連絡が可能な電話番号）
- ⑤緊急連絡先（受講者以外）
- ⑥メールアドレス（無い場合は「なし」と記入）
- ⑦受講希望科目（複数選択可）
- ⑧通学方法（スクールバス、自動車（送迎含む）、その他）

(4) 選抜方法

定員を超える申し込みがあった場合は、抽選により受講者を決定します。
（受講の可否は申込者全員にご連絡します。）

(5) その他

お申し込み前に以下の項目をご確認ください。

- ・第1回目の授業から出席が必要です。
- ・学内のITサービス（ネットワーク、UNIPA、WebClass、Box、Zoom、Webメールなど）および図書館（閲覧・貸出）は利用できません。
- ・パソコンの貸し出しは行いません。

4 各授業科目の概要および担当教員

戦争と平和の歴史 (中島 浩貴)	戦争と平和を軸に近現代史を検討します。歴史学は様々な観点で発展を遂げていますが、戦争と平和の問題についても全体的に見ていくことができるようになってきました。フランス革命から二つの世界大戦、現代までの歴史について、講義ではできるだけわかりやすく話しつつも、最新の議論をも紹介していきたいと思えます。理解の一助として、映画やドキュメンタリーも参照します。
歴史学 (中島 浩貴)	(月曜3限、金曜3限)「歴史学」では、「歴史とはなにか」を扱います。人間はどうして過去のことを研究するのでしょうか。この問題意識をもって「歴史と学問」を考えていきます。古代から現代の歴史についての見方の移り変わり、現在、活発化している歴史学の発展を踏まえた講義を行います。
化学A (小曾根 崇)	現在までに様々な機能性分子が生み出されて我々の日常生活に使われている。分子の性質とそのメカニズムを知るためには、まず構成される原子の性質を正確に理解することが重要である。 本講義では大学化学の基本となる原子の基本構造を学ぶ。この理論を基にして、原子の諸性質、化学結合の理論的解釈を理解していく。
多文化コミュニケーションA (比嘉 徹徳)	この授業では初めてドイツ語を学ぶ受講者を対象に、ドイツ語の初級文法をしっかりと学びながら、実践的なドイツ語会話の練習を行い、さらにドイツ語圏文化についてさまざまな話題を取り上げます。ドイツ語を入り口に、ヨーロッパ全般への関心を高め、多文化コミュニケーションへの足がかりとします。必要に応じて、時事的な話題の紹介や映像の鑑賞を行い、異なる文化への関心を広げることが目的としています。
世界経済の現在 (諸岡 千裕)	この授業では、経済学を初めて学ぶかたに、経済学的なものを見方をわかりやすく説明します。基礎的な経済学には、ミクロ経済学とマクロ経済学がありますが、この授業では主にマクロ経済学を学びます。マクロ経済学の基礎となる、一国の経済水準がどのように決まるのかを学び、あわせて各国・地域の経済状況を学びます。到達目標は、経済学で用いられる基本的な用語を理解すること、マクロ経済学の基本的な概念を身につけること、海外の経済状況について考えられるようになることです。
欧米文化研究 (中島 浩貴)	この講義では、ヨーロッパとアメリカの文化変容を歴史的に見ていきます。大学とエリート文化、大衆化、世界大戦の時代、現代の消費社会などについて見ていきます。そして、日本が、欧米の文化からどのように影響を受けていったのかについても触れていく予定です。なお、欧米事情を理解する題材として映画も見ていただく予定です。
教養ゼミナールA (中島 浩貴)	このゼミでは地域の活性化をテーマとします。学生と地域や社会についての調査を行い、アイデアを出し合いながら、実践的活動を行っていきます。実際の企画については、一般学生のニーズを優先しますが、坂戸(北坂戸にぎわいサロン)、鳩山、東松山でのさまざまな企画実行やイベントを実施する予定です。